

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公表番号】特表2002-541221(P2002-541221A)

【公表日】平成14年12月3日(2002.12.3)

【出願番号】特願2000-610535(P2000-610535)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/46 (2006.01)

A 6 1 L 17/00 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 41/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 L 24/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/46

A 6 1 L 17/00

A 6 1 L 31/00 C

A 6 1 L 31/00 P

A 6 1 L 31/00 T

A 6 1 P 41/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 K 37/02

A 6 1 L 25/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月9日(2007.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 虚血心臓組織において血管新生を促進するための医薬を製造するための、三次元的組織の使用であって、該虚血心臓組織を、間質細胞と間質細胞によって天然に分泌される結合組織タンパク質とを含んでなる三次元的間質組織と接触させ、該細胞は生体適合性のある非生存材料からなる骨組みに接着して実質的に該骨組みを包み込んでおり、該骨組みが該間質細胞によって架橋されている間質腔(interstitial space)を有する三次元的構造を形成している、上記使用。

【請求項 2】 間質細胞が繊維芽細胞である、請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】 間質細胞が平滑筋細胞である、請求項 1 記載の使用。

【請求項 4】 平滑筋細胞が血管平滑筋細胞である、請求項 3 記載の使用。

【請求項 5】 血管平滑筋細胞が大動脈平滑筋細胞である、請求項 4 記載の使用。

【請求項 6】 間質細胞が心筋細胞である、請求項 1 記載の使用。

【請求項 7】 間質細胞が繊維芽細胞と、平滑筋細胞、心筋細胞、内皮細胞、周皮細胞、マクロファージ、単球、白血球、プラズマ細胞、肥満細胞、または脂肪細胞との組み合わせである、請求項 1 記載の使用。

【請求項 8】 骨組みが生分解性材料からなる、請求項 1 記載の使用。

【請求項 9】 生分解性材料が、ポリグリコール酸、腸線縫合糸、セルロース、ゼラチン、コラーゲンまたはデキストランである、請求項 8 記載の使用。

【請求項 10】 骨組みが非生分解性材料からなる、請求項 1 記載の使用。

【請求項 11】 非生分解性材料が、ポリアミド、ポリエステル、ポリスチレン、ポリプロピレン、ポリアクリレート、ポリビニル、ポリカーボネート、ポリテトラフルオロエチレン、ニトロセルロース化合物、または綿である、請求項 10 記載の使用。

【請求項 12】 骨組みが網状である請求項 1～11 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 13】 間質組織が新鮮な培養物から直接得られる、請求項 1 記載の使用。

【請求項 14】 間質組織が低温保存されていたものである、請求項 1 記載の使用。

【請求項 15】 間質組織が天然の細胞接着によって虚血心臓組織に接着する、請求項 1 記載の使用。

【請求項 16】 間質組織を、生分解性もしくは非生分解性の縫合糸、生物学的接着剤、合成接着剤、レーザー色素またはヒドロゲルを用いて虚血心臓組織に接着させる、請求項 1 記載の使用。

【請求項 17】 虚血組織が心外膜のものである、請求項 1 記載の使用。

【請求項 18】 虚血組織が心筋層のものである、請求項 1 記載の使用。

【請求項 19】 虚血組織が心内膜のものである、請求項 1 記載の使用。

【請求項 20】 虚血組織において血管形成を促進するための医薬の製造における三次元的組織の使用であって、該虚血組織を、間質細胞と間質細胞によって天然に分泌される結合組織タンパク質とを含んでなる三次元的間質組織に接触させ、該細胞は生体適合性のある非生存材料からなる骨組みに接着して実質的に該骨組みを包み込んでおり、該骨組みが該間質細胞によって架橋されている間質腔を有する三次元的構造を形成している、上記使用。

【請求項 21】 虚血組織が骨格筋、平滑筋、結合組織または皮膚のうちの少なくとも 1 つである、請求項 20 記載の使用。

【請求項 22】 間質細胞が繊維芽細胞である、請求項 20 記載の使用。

【請求項 23】 間質細胞が平滑筋細胞である、請求項 20 記載の使用。

【請求項 24】 平滑筋細胞が血管平滑筋細胞である、請求項 23 記載の使用。

【請求項 25】 血管平滑筋細胞が大動脈平滑筋細胞である、請求項 24 記載の使用。

。

【請求項 26】 間質細胞が心筋細胞である、請求項 20 記載の使用。

【請求項 27】 間質細胞が、繊維芽細胞と、平滑筋細胞、心筋細胞、内皮細胞、周皮細胞、マクロファージ、単球、白血球、プラズマ細胞、肥満細胞、または脂肪細胞との組み合わせである、請求項 20 記載の使用。

【請求項 28】 間質組織を、生分解性もしくは非生分解性の縫合糸、生物学的接着剤、合成接着剤、レーザー色素またはヒドロゲルを用いて虚血組織に接着させることをさらに含む、請求項 20 記載の使用。

【請求項 29】 間質細胞が間充細胞である、請求項 1 記載の使用。

【請求項 30】 間質細胞が間充細胞である、請求項 20 又は 21 記載の使用。